



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.11月号

## 秋期特別展

### くらしの今昔 —電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち—

12月24日(祝日)まで開催中

#### ◎1日むかしの暮らし体験

洗たく板で洗たく、かまどでご飯炊きなど電気や水道がなかった時代の生活を体験します。

日時：11月18日(日) 午前10時～午後3時

場所：屋外展示場(雨天時は科学教室)

対象：小・中学生とその保護者

定員：先着30名(当日9:50から受付開始)。見学は自由。

#### ◎講演会「昭和の暮らしに学ぶこと」

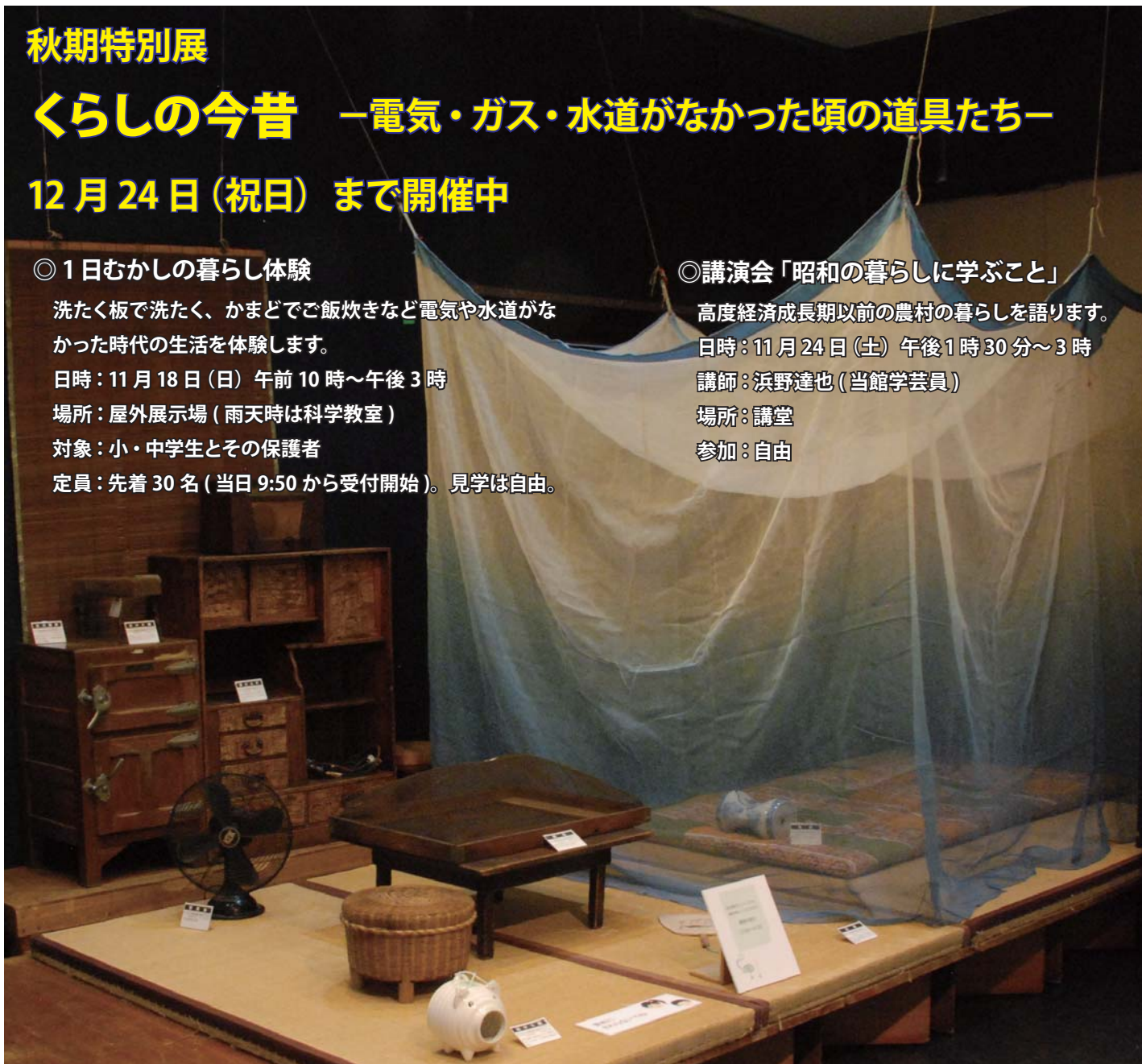
高度経済成長期以前の農村の暮らしを語ります。

日時：11月24日(土) 午後1時30分～3時

講師：浜野達也(当館学芸員)

場所：講堂

参加：自由



こんにちは。わたし<sup>しらさぎあおい</sup>白鷺葵、小学4年生。今日は家族8人そろって博物館の特別展示を見に来たの。そうしたら、ひいおじいちゃん<sup>ひいおじいちゃん</sup>とひいおばあちゃん、おじいちゃんとおばあちゃんがむかしのくらしのことをたくさん話してくれたの。とってもためになったんだよ。みんなにも、うちの家族が話したことを教えてあげるから、ぜひ見に来てね。待ってるよ。

<sup>しらさぎしょう</sup>

ぼく<sup>しらさぎしょう</sup>白鷺翔。小学2年生。とっておきの情報を教えてあげるね。毎日午後1時から2時まで、展示解説ボランティアの人が説明<sup>かや</sup>をしてくれるんだ。その時間は、蚊帳の中へ入ってふとんに寝<sup>ちくおんき</sup>ころがることもできるよ。蓄音機<sup>ちくおんき</sup>でむかしのSP盤レコードを聴くこともできるんだってさ。



# 秋のイブニング・ミュージアム・ウィーク

11月6日(火)～11月11日(日)

開館時間を午後7時まで延長し、毎日午後6時～7時、学芸員による講演やプラネタリウム投影、体験教室などを開催します。すべての行事、申し込み不要・参加自由です。

## テーマ「あかりとエネルギー」

### 6日(火)「縄文体験 炎の夕べ」※雨天中止

担当：栗山雄揮／古代生活実験室 会場：屋外

私たちはいつも縄文土器を電球の光で見っていますが、縄文時代の人々は太陽の光と炎の光で見えました。複雑で立体的な文様に飾られた縄文土器が、揺らめく炎の光のなかでどのような表情を見せてくれるのでしょうか。マイギリやモミギリによる火起こしから始まる縄文時代の夕暮れ時を体験します。

### 7日(水)「地震のエネルギー –平塚周辺の活断層–」 担当：森慎一 会場：講堂

地震はプレート運動による地殻の歪みエネルギーが飽和となり解放されるときに起こります。活断層は蓄積されたエネルギーが解放されたところです。ここでは南関東地域のプレート運動と、平塚周辺の活断層についての話題を提供します。

### 8日(木)「江戸のエネルギーを支えた相模川水運」 担当：早田旅人 会場：講堂

津久井や丹沢で産出される薪炭類は江戸の生活を支える燃料として相模川を下り、河口で廻船に積み替え江戸へ運ばれました。さまざまな物資を運び相模国の大動脈となった相模川・相模湾水運と須賀の廻船問屋に焦点を当て地域の歴史を考えます。

### 9日(金)「むかしの灯り体験」 担当：浜野達也／民俗探訪会 会場：科学教室

市内の各家に電灯がともったのは大正時代。それ以前は石油ランプ、あんどん、提灯などのほのかな灯りでした。むかしの灯りでどこまで見えるのか、その暗さを体験してみましょう。行灯やろうそくのおかげ話も語られる予定です。

### 10日(土)「身近なもので電気を作ろう」 担当：塚田健 会場：講堂

コンセントにプラグを差したり電池を入れたりすれば当たり前のようにつかえる電気。家庭でつかう電気は発電所で作られていますが、実は電気は簡単に作ることができます。家庭にもある身近なもので電気を起こしてみましょう。

### 11日(日)「街明かりと天の川」 担当：澤村泰彦 会場：プラネタリウム室

街灯や光のサイン、ライトアップ等の夜間照明は、夜空全体を明るくし、星を見えにくくしています。便利な夜と引き換えに失った風景について、考えましょう。



市制 80 周年記念

寄贈品コーナー

# 市制施行記念品展

11月1日(火)～11月29日(日)

昭和7年(1932)4月1日、平塚町は市制を施行し、平塚市として県下4番目の市を発足させました。市制施行を受けて、市内は市制祝賀にわき、商店街では記念セールなどさまざまなイベントを催し、市制施行にちなんだチラシを作成しました。



「祝市制記念特売」チラシ 丸吉家具百貨店

本展示では、これら市制施行にちなんだ記念品やチラシ類を展示し、祝賀ムードにまつまれた市制施行当時を振り返ります。

市制施行から80年を経た今、市制施行当初を振り返り、今後のまちの未来に思いをめぐらせてみてはいかがでしょうか。

## パワーアップしたプラネタリウム

2012年10月のプラネタリウム音響・映像機器更新に伴い、新しいデジタルプラネタリウムのソフトウェア「Uniview (ユニビュー)」が搭載されました。デジタルプラネタリウムは、言わばパソコンの画面に映し出された星空を丸い天井(ドーム)に投影するものですが、ユニビューは地上から見た星空だけでなく、宇宙に飛び出して国際宇宙ステーションから地球を見下ろしたり、太陽系の惑星たちに近づいたり、果てには天の川銀河(銀河系)を外から眺めたり、宇宙の大規模構造を見渡したりすることができるのです。これからこれらの機能も活用して投影を行っていく予定ですので、ご期待ください!



ユニビューで投影した、国際宇宙ステーションから見下ろした地球



ユニビューで投影した、迫力ある土星の姿

11月

1	木	展示解説ボランティアの会	野外		秋期特別展「くらしの今昔」 (11月24日) 電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち 寄贈品コーナー「市制施行記念品展」 (11月29日)	
2	金	古文書講読会	講堂			
		お囃子研究会	講堂			
3	土	古代生活実験室	科学教室	☆		
4	日	○土屋の石仏めぐり①	土屋地区			
		○平塚学講座 天文分野	プラネタリウム	☆		
		相模川の生い立ちを探る会	鎌倉七口			
5	月	休館日				
6	火	◎秋のE.M.W. (考古)	屋外展示場			
7	水	◎秋のE.M.W. (地質)	講堂			
8	木	石仏を調べる会	大野地区			
		◎秋のE.M.W. (歴史)	講堂			
9	金	古文書講読会	講堂			
		◎秋のE.M.W. (民俗)	科学教室			
10	土	星まつりを調べる会	科学教室			
		◎秋のE.M.W. (天文)	講堂	☆		
11	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂			
		◎秋のE.M.W. (天文)	プラネタリウム	☆		
12	月	休館日				
13	火	地質調査会	工作室			
15	木	展示解説ボランティアの会	講堂			
		古文書講読会	講堂			
		お囃子研究会	講堂			
16	金	◎星を見る会	科学教室			
		○平塚の遺跡を歩く	野外			
		○平塚学講座 地質分野	講堂			
17	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	☆		
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室			
		◎ろばたばなし	相模の家			
18	日	◎1日むかしの暮らし体験	屋外展示場	☆		
		○平塚学講座 地質分野	講堂			
		休館日				
21	水	民俗探訪会	横須賀市			
		裏打ちの会	科学教室			
22	木	石仏を調べる会	特別研究室			
		◎特別展講演会	講堂			
		お囃子研究会	講堂	☆		
24	土	天体観察会	科学教室			
		○考古学入門講座	講堂	☆		
26	月	休館日				
30	金	○お囃子研究会	講堂			

展示・プラネタリウムと行事

<特別展と関連行事>

☆秋期特別展

「くらしの今昔 ～電気・ガス・水道がなかった頃の道具たち～」

※詳細は本誌1頁参照

<寄贈品コーナー>

☆「市制施行記念品展」

※詳細は本誌3頁参照

<プラネタリウム>

☆プラネタリウム番組「フリートーク・プラネタリウム」

内容：どんな内容になるかは来てからのお楽しみ！

期間：11月25日(日)まで

料金：200円(18歳未満65歳以上無料)

<申込制の行事>

○平塚の遺跡を歩く「墨染館と田村館」

日時：11月17日(土) 午前10時～午後3時

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、11月8日(木)までに申し込む。

申込：30人(応募多数時抽選)

12月

1	土	星まつりを調べる会	科学教室	☆	秋期特別展「くらしの今昔」 (12月24日) 電気・ガス・水道がなかった頃の道具 寄贈品コーナー「相州だるま展」 (12月27日)
2	日			☆	
3	月	休館日			
6	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
7	金	古文書講読会	講堂		
8	土			☆	
9	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂		
		○平塚学講座 歴史分野	講堂	☆	
10	月	休館日			
11	火	地質調査会	工作室		
13	木	石仏を調べる会	特別研究室		
		古文書講読会	講堂		
14	金	お囃子研究会	講堂		
		◎星を見る会	科学教室		
15	土	古代生活実験室	科学教室		
		地域史研究ゼミ	特別研究室	☆	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
16	日	○体験学習「お飾りをつくろう」	講堂		
		◎ろばたばなし	相模の家	☆	
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室		
17	月	休館日			
19	水	民俗探訪会	特別研究室		
		裏打ちの会	科学教室		
20	木	展示解説ボランティアの会	講堂		
		古文書講読会	講堂		
21	金	お囃子研究会	講堂		
		天体観察会	科学教室	☆	
22	土	◎特別展展示解説	特別展示室		
		○平塚学講座 考古部門	講堂	☆	
23	日	振替休日開館日			
24	月	振替休日開館日			
26	水			☆	
27	木			☆	
29	土	休館日			
30	日	休館日			
31	月	休館日			

☆:プラネタリウム投影日 ○:申込制行事 ◎:参加自由 無印:年間会員制

○考古学入門講座「考古学と文献資料2」

日時：11月25日(日) 午後2時～午後3時30分

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、11月15日(木)までに申し込む。

申込：50人(応募多数時抽選、第1回参加者優先)

○体験学習「お飾りをつくろう」

日時：12月16日(日) 午後1時～午後4時

申込：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、12月6日(木)までに申し込む。

申込：50人(応募多数時抽選)

<自由参加の行事>

◎イブニング・ミュージアム・ウィーク (E.M.W.)

※詳細は本誌2頁参照

◎星を見る会「木星と秋の星を見よう」

日時：11月16日(金) 午後7時～午後8時30分

場所：科学教室・屋上

◎ろばたばなし

内容：民家のいろいろばたで昔話を語ります。

日時：11月18日(日) (1)午後1時20分、(2)午後3時

場所：展示室1階「相模の家」

11月の休館日：5日、12日、19日、26日

あなたと博物館 40巻8号 通算431号 発行 平塚市博物館 2100

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/